

2026年9月16日

株式会社サイキンソー

海藻の摂取頻度が高い人ほど健康長寿菌「酪酸産生菌」が多い傾向**～排便状況との関連も確認～**

サイキンソーのデータを用いたカネリョウ海藻の研究で判明。

第73回日本栄養改善学会で発表

腸内フローラ検査「マイキンソー（Mykinso）」を開発・提供する株式会社サイキンソー（本社：東京都渋谷区、代表取締役：原 洋介、以下サイキンソー）は、海藻の総合メーカーであるカネリョウ海藻株式会社（本社：熊本県宇土市、代表取締役社長：高木 良樹、以下カネリョウ海藻）に対し、自社が保有する腸内細菌叢のビッグデータを提供し、海藻の摂取頻度と腸内細菌叢の関連について統計解析による観察研究を実施しました。



The graphic features the logos of Cykinso and Kaneryo (良 KANERYO) separated by a large 'X' symbol. Below the logos, the main headline reads: **海藻の摂取頻度が高い人ほど健康長寿菌『酪酸産生菌』が多い傾向**. Underneath this, three lines of text state: **サイキンソーのデータを用いたカネリョウ海藻の研究で判明。第73回日本栄養改善学会で発表**. The graphic is decorated with illustrations of various seaweeds at the bottom and a cartoon character of a smiling, muscular stomach with arms and legs, surrounded by green leaves and yellow stars.

本研究により、海藻の摂取頻度が高い人ほど、腸管バリア機能の強化などに寄与する「酪酸産生菌」の存在比が有意に高いことが判明しました。本研究成果は、9月11～13日に開催された「第73回日本栄養改善学会」にて発表されました。

■ 取り組みの背景と目的

サイキンソーは「細菌叢で人々を健康に」を企業理念に掲げ、国内最大規模の腸内フローラ検査データおよび生活習慣データを蓄積しています。一方、カネリョウ海藻は海藻のスペシャリストとして、海藻の健康機能に関する研究開発を推進しています。この度、サイキンソーはカネリョウ海藻からの研究支援依頼を受け、自社が保有するデータアセットを活用した観察研究を実施しました。海藻の健康効果を科学的エビデンスに基づいて明らかにするため、抽出した1,000例のデータから、海藻の摂取頻度と関連する腸内細菌を網羅的に解析しました。

■ 主な研究結果

1. 海藻摂取頻度と酪酸産生菌の正の相関

主要な腸内細菌属の存在比と保有者割合を目的変数とし、4段階（週1回未満、週1～3回、週4～6回、毎日）の海藻摂取頻度を説明変数、年齢・性別・BMI・海藻以外の食品摂取頻度を共変量とする重回帰分析モデルを用いて検討しました。（図1、図2）その結果、海藻摂取頻度が高い群ほど、腸管バリア機能の強化や炎症抑制に寄与する「酪酸」を産生する *Butyricoccus*（ブチリシコッカス）などの菌属の存在比および保有者割合が有意に高いことが判明しました。

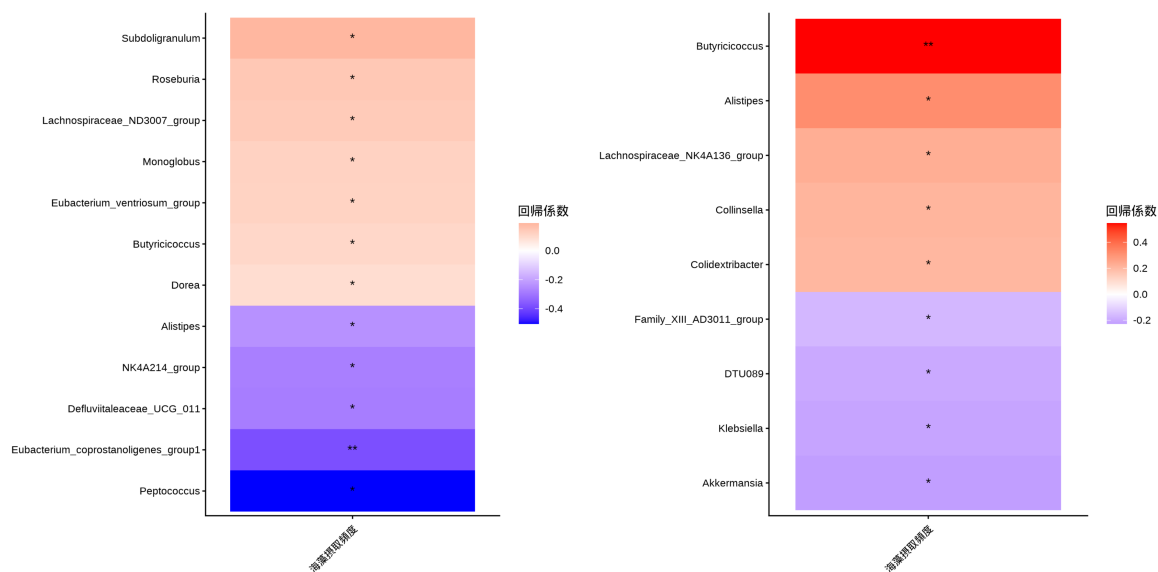


図1) 存在比が海藻摂取頻度と有意に相関する菌属

図2) 保有者割合が海藻摂取頻度と有意に相関する菌属

2. 腸内における「栄養共生ネットワーク」の構築を示唆

主に難消化性の複合多糖類を効率よく分解利用する *Monoglobus*（モノグロバス）との有意な正の関連も確認されました。このことは、海藻多糖類の一次分解を担う *Bacteroides*（バクテロイデス）属が生成した中間代謝産物を *Monoglobus* が受け取るという、クロスフィーディングネットワークが構築されていることを示唆しています。一方で、主にタンパク質や脂質の代謝物を利用する *Peptococcus*（ペプトコッカス）は、海藻摂取頻度と負の関連が確認されました。

3. 排便頻度への影響（ヨーグルト・乳酸菌飲料と同程度）

海藻の摂取頻度は排便頻度と正に相関する傾向が認められ、特に女性においては、海藻の摂取頻度が高いほど排便頻度が少ない人の割合が有意に少ないことが示されました。特筆すべき点として、この排便頻度の増加効果は、既存の主要な機能性食品である「ヨーグルト・乳酸菌飲料」の摂取による効果と同程度でした。

■ 今後の展望

本横断的観察研究により、海藻の日常的な摂取が腸内環境にポジティブな影響をもたらすことが示唆されました。今後は介入研究を実施し、本研究結果との整合性をさらに確認していく予定です。

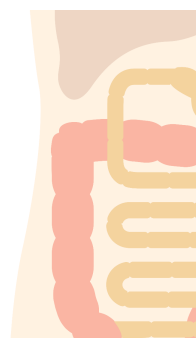
■ 研究支援サービス「Cykinso Research」について

Cykinso Research（サイキンソー リサーチ）は、研究機関や企業に対して細菌叢研究を多方面からサポートする研究支援サービスです。国内最大級の検体データベースや被験者コミュニティを活用し、腸内・口腔内細菌叢解析の受託や細菌叢データの提供を行っています。さらに、臨床試験の計画から条件に合うモニター募集、実施、成果の社会実装までを一気通貫でトータルサポートしています。

サービスサイト：<https://research.cykinso.co.jp/>

■マイキンソー（Mykinso）について

自宅で誰でも簡単にできる腸内フローラ（腸内細菌叢）検査サービスです。腸内フローラの良し悪しを5段階で評価する「腸内フローラ総合判定」の搭載に加え、ビフィズス菌や酪酸産生菌、エクオール産生菌などの有用菌、肥満や大腸がんのリスクに関係がある要注意菌など10項目が確認できま



す。加えて、菌の項目に合わせて腸内環境を改善するためのアドバイスもお伝えします。また、検査や腸活を活用した健康経営のサポートも行っています。

- ・「マイキンソー（Mykinso）」サービスサイト：<https://mykinso.com/>
- ・健康経営支援：https://cykinso.co.jp/healthcare_support

■会社概要

【会社名：株式会社サイキンソー】

- ・設立：2014年11月19日
- ・所在地：東京都渋谷区代々木1-36 -1 オダカビル2階
- ・代表者：代表取締役社長 原 洋介
- ・主な共同研究先：大阪大学微生物病研究所
- ・HP：<https://cykinso.co.jp/>



【カネリョウ海藻株式会社】

- ・設立：1993年9月
- ・所在地：熊本県宇土市笹原町1544番地
- ・代表者：代表取締役社長 高木 良樹
- ・事業内容：食品（主に海藻）の加工販売
- ・HP：<https://www.kaneryo.co.jp/>



＜本リリースに関するお問い合わせ＞
株式会社サイキンソー 広報担当
電話：03-5309-2522
メールアドレス：public_relations@cykinso.co.jp